

1992-93年度国際ロータリーのテーマ



まことの幸福は人助けから



## Real Happiness is Helping Others

- 国際ロータリー会長 クリフ・ダクターマン
- 第2560地区ガバナー 栗山 清
- 会長——内山辰策
- 副会長——上木六治
- 幹事——榎本 勝
- 副幹事——五十嵐総一
- SAA——渋谷正一
- 副SAA——松谷昊吉
- 例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 35-3477
- FAX 32-7095

**出席者会員数** 会員 76名中 52名

**先々週出席率** 95.95% (前年同期 96.05%)

**今日のお花** 菊

**ヴィジター** 三条南より 横山準司さん、佐藤英一さん、鈴木幸一さん、  
永桶栄資さん、田中正佐久さん、馬場茂夫さん、  
大原義弘さん、住谷哲雄さん

**先週のメイクアップ**

10/8 加茂へ 松縄 弘さん

10/8 ローターアクトへ 松谷昊吉さん、山浦日出夫さん

10/12 三条南へ 山本福七さん、斎藤弘文さん、金沢興宗さん、阿部武美さん、  
渡辺宏策さん

10/9 新潟東へ 渋谷健一さん

10/12 三条南へ 斎藤弘文さん、金沢興宗さん、渡辺宏策さん、山本福七さん、

阿部武美さん

10/13 三条北へ 広岡豊作さん、加藤紋次郎さん、吉井俊介さん、外山雅也さん

**会長挨拶** 内山(辰)会長

ロータリー財団1年間留学生に古沢ゆりさんが決まりました1年間スイスにて勉強なさいます。体に気を付けがんばって下さい。

世の中がめまぐるしく変わるニュースに毎日おどろいています。変化のとぼしいロータリーとめまぐるしく変わる世間が対象的だなあと感じます。

下記のニュースを聞いての感想

- ・巨人の監督が長島さんになって
- ・松坂慶子さんが親から訴えられる
- ・エイズ教育は学校にて学ぶ
- ・ある大物政治家が引退

**幹事報告** 榎本幹事

◎例会変更のお知らせ!

三条南RC——10月30日(金)25周年チャリティコンサート  
 「シャンソンの夕べ」 於 三条市中央公民館  
 11月2日(月)休会

燕RC——10月29日(木)親睦例会 於 ちゃんこ越葉 PM6:30~

ニコニコBOX ¥15,000 10月14日分

佐藤英一さん(三条南RC)

本日はコンサートの宣伝をさせていただきます。

古澤さん 知事選で業界の地区世話人として素人なりに皆さんにお願いしております。21日午後7時30分より地場産センターで個人演説会があります。会場を満杯にしたいと思っています。ご協力を!

清水さん 巨人軍、長島新監督の活躍を期待して!

丸山さん 酒屋の野球の全国大会に関信越の代表で神宮へ行ってきました。昨年は全国第四位でしたが今年是一次戦は高知に勝ちましたが二回戦で熊本に負けてしまいました入賞できませんでしたが野球を楽しんできました。

榎本さん 例会を連続欠席しました、申し訳ありません。10月11日海上自衛隊の観船式に参加して来ました。

上木さん 今日健康で例会に出席することができました。ロータリーの社会奉仕活動に協力してボックスへ。お花を頂いて帰りますので。

山浦さん、五十嵐(総)さん、松谷さん、内山(辰)さん

今日健康で例会に出席することができました。ロータリーの社会奉仕活動に協力してボックスへ。

川又さん イラン国へ出張にいった来ました。

小林(敬)さん 県央30万都市構想で大変お世話になりました。前日銀支店長の平山征夫さんがふん戦しておられます。是非ご支援下さいますよう宜しくお願い致します。

**卓話** 職業奉仕月間

熊倉昌平会員

ロータリー財団1年間留学生に古沢さんが決まりました。

昨年私は財団委員長の際の事でした。留学生に選ばれる事大変困難で決定する事はマレな事ですよと返事をしましたが、三条クラブとして推薦いたしました。当時選考委員の一人でパストガバナーの藤田さんの一言で決定。あの人は美人で、頭が良くて、明るいい人です、決まりました。

職業奉仕月間と言う事で私の仕事の事をお話いたします。

三条市職業高等学校の校長を9年間おおせつかりましたが、この学校は昭和35年国策にて建築の仕事をする学校として設立いたしました。

設立当初は建築組合の従業員や見習いの人達が主でしたが、現在はワープロ課、経理課等の部も増え、生徒は70名になっております。

毎年優秀の生徒さんに表彰いたしておりますが表彰の際、県知事賞、三条市長賞、校長賞、ロータリクラブ賞等の人選が大変むづかしいものです。賞にふさわしい人を講師が全員集って決める訳ですが、人が人の順位を決めるむづかしさ、各講師からいろいろの意見が出、それを一本に決める事のむづかしさを毎年感じさせられます。



新潟大学院人文学部在学中の古沢です。

希望するスイスのチューリーヒ大学の専門は文化人類学  
の名称です。まだ一度も外国に行った事のない私です。

留学生として決まった事はうれしかったです。勉強  
だけでなく海外の人との交流も力を入れてやっていき  
たいと思います。

生れも育ちも三条です。県内より外へ出た事がなく、  
不安もありますが、がんばりますのでよろしくお願  
いいたします。



# 古今

時代を超えていま

文・重門冬二

**家康の宝は部下**  
本多正信は、徳川家康のなくてはならぬ  
ブレインである。  
しかし、正信は初めから家康の忠臣だっ  
たわけではない。若い頃は家康に反乱を起  
こした。正信は一向宗の熱心な信者だった。  
家康が治めていた三河国は、とりわけ一向  
宗の盛んなところだ。ある時、年貢の問題  
がこじれて大規模な一揆が起  
った。この時、  
正信は一揆側の  
隊長だった。

## 徳川 家康

しかし一揆は潰され  
た。隊長だった正信は三  
河国から逃げ出して、諸国  
を流浪した。  
ところが、難か間に入  
る人がいて正信は呼び戻  
された。家康から、  
「これからは心を入れ替  
えておしにさせる」と  
いわれた。  
豊臣秀吉が天下とな  
った時、家康はその補佐  
役の第一人者になった。  
秀吉には珍しい品物を集  
めては、大名たちに自慢  
する悪い癖があった。  
ある時、正信が供をし  
て家康と一緒に秀吉のと  
ころにいくと、秀吉は家  
康にいった。  
「わたしは近頃これほどたくさんの宝物を  
集めた。徳川殿はどんな宝をお持ちか？」  
家康はちよつとためらったが、こう答え  
た。  
「別に、わたくしは宝になるような品物は  
持ちあわせておりません」  
「ほう、何もないとおっしゃるのか？」  
「いえ、そういう意味ではございません  
わたくしにも宝物はございます」  
「なんですか？」  
好奇心を誘う秀吉に、家康は徳の本  
多正信を振り返りながらこういった。  
「ここにおります者をはじめ、わたくしに  
仕える部下の全部が、わたくしにとっての

## 部下は将棋のコマだ

宝の一人と認められて



## 本多 正信

何よりの宝でございます」  
「……」  
意外な答えに秀吉は戸惑  
った。やがて顔を赤くした。  
品物だけを宝物だと自慢し  
ていた自分が恥かしくなっ  
たのだらう。その時、家康は静かに秀吉を  
見返していた。自分の言葉に自信があった  
からである。正信は感動した。  
（かつて家康様を裏切ったおしを、宝物の  
一人に加えてくださるとはなんと素晴らしい  
ことか。おしは命を捨てて家康様への忠勤  
に励もう）  
そう思った。そして、家康との出会いを  
本当に幸福だと思った。

将棋のコマは取れば使える

武田信玄が死ぬとその子勝頼が、京都に  
上がろうとした。徳川家康は、織田信長と  
連合軍を編成してこれを迎え討った。有名  
な長篠の合戦である。この合戦で武田軍は  
大敗した。これが原因になって、武田家は  
やがて滅びてしまう。  
信長は新しい大將で、敵側の大將武田勝  
頼の首を見ることをムチ打った。そして、  
「お前のオヤジ信玄は名將だったが、お前  
は馬鹿者だ。だからこういふ目に遭う」と  
罵った。ところが徳川家康は、土の上  
に膝をついて丁寧に勝頼の首を拜み、  
「分は天のもので、人力ではどうにもなり  
ません。ご冥福を祈ります」と  
といった。脇にいるものは、みんな信長  
よりも家康の行いに感動した。

信長は、  
「武田の家来など、信用できない」  
と。武田の旧臣は一人も採用しな  
かった。ところが家康は、武田の旧臣たち  
を積極的に自分の軍団に取り込んだ。  
あまりにもその度が過ぎるので本多正信  
が反対した。  
「あまり武田の旧臣たちを信用になると、  
今まであなたにお仕えしてきた部下たちが  
ひがみますぞ」  
「そんなことはなからう」  
家康は笑った。しかし、正信は執拗に責  
らいついた。  
「武田軍団は精強を誇った強兵隊です。  
殊勝な部をして降参はしても、いつあなた  
のお命を狙うか分かりません」  
この時二人が論争したのは、大久保長安  
という武田の旧臣を採用するかどうかとい  
うことだった。長安は武田信玄に仕えてい  
た能者だった。その後勝頼にも仕  
えたが、必ずしもかれの才能は活か  
されなかった。家康は長安の特殊技  
能を見抜いていた。それは長安が嵐  
山開発や道路整備や民政などに使われ  
た力を持っていたことである。  
「この国を、早く平和な国にしよう」と  
考える家康は、大久保長安のよ  
うな新しい特別技能者を活用するこ  
とが、その仕事を早く押し進めるこ  
とになると信じていた。  
にもかかわらずさういう心を知ら  
ない正信があくまで反対するの  
で、家康は最後はこういった。  
「おい、正信。部下というのは将棋  
のコマだよ」  
「将棋のコマ？」  
細思されたように家康を見返す正信に、  
家康は笑ってこういった。  
「将棋のコマは、例え敵のコマでも一旦取  
れば、今度はごちのコマとして使えるで  
はないか」  
「は？」思わずハッとする正信に家康はさ  
らに付け加えた。  
「お前がそのいい見本ではないか。お前もか  
つては敵のコマだった。ところが今はおれ  
の一番頼りになる忠臣として仕えている」  
正信は言葉を失った。そして  
（この将棋にはかなわない）  
としみじみと感じた。正信はこういった。  
「あなたとの出会いは、わたくしの一生を  
完全に左右いたしました」  
「そうか。それは僕の運を大きくしたな」  
主従は声を合わせて大きく笑った。  
(イラスト・大森真司)

- 10月21日例会 卓話 「PKOについて」 自衛隊募集課長 小梁川 純殿
- 10月28日例会 卓話 山本福七会員
- 11月4日例会 卓話 「エイズについて」 日戸平太会員